略歴

ジャン＝エリック・パケ
1966年3月3日生まれ

職歴

2022年秋～ **駐日欧州連合（EU）大使**

2018年4月1日～2022年8月31日 **欧州委員会　研究・イノベーション総局　総局長**

研究・イノベーションに関する組織を挙げた取り組みの推進。EU の研究・イノベーション助成プログラム「ホライズン・ヨーロッパ」の準備と交渉。欧州イノベーション会議の創設と試験的運営。研究・イノベーション総局の改革。
国際的な側面:「研究・イノベーションに関するグローバルアプローチ」に関する欧州委員会コミュニケーション（政策文書）（2021年5月）を受け、複数の国際パートナーとの科学技術に関する協定締結と関係強化。

2015年11月1日～2018年3月31日 **欧州委員会　政策調整Ｉ（Directorate D）・より良い規制（Directorate C）担当　副事務総長**

「欧州半期（ヨーロピアン・セメスター）」の調整。エネルギー同盟に関するすべての法案の作成。経済通貨同盟（EMU）パッケージの作成。「欧州社会権の柱」に関する交渉の調整。若者の地域社会向けボランティア活動などへの参加機会を創出する取組み「欧州連帯隊（European Solidarity Corps）」の実施。

2015年1月1日～2015年10月31日 **欧州委員会　近隣・拡大交渉総局　西バルカン局（Directorate D）　局長**

政策の立案と実施、調整、広報。西バルカン諸国における欧州委員会の代表。EU 拡大政策の基礎（法の支配、経済ガバナンス、行政改革）の重点化。エネルギー・運輸部門の連結性においてなど、EU の西バルカン政策の地域的側面の深化。権限移譲による加盟前支援手段（IPA）の決裁権限者。

2013年11月1日～2014年12月31日 **欧州委員会　拡大総局　アルバニア・ボスニア・ヘルツェゴビナ・セルビア・コソボ局（Directorate C）局長**

政策の立案と実施、調整、広報。対象国における欧州委員会の代表。拡大政策の基礎（法の支配、経済ガバナンス、行政改革）の重点化。権限移譲による加盟前支援手段（IPA）の決裁権限者。

2011 年 3 月 16 日～ 2013 年 10 月 31 日　**欧州委員会　モビリティ・運輸総局　欧州モビリティ・ネットワーク局（Directorate B）　局長**

欧州横断運輸ネットワーク（TEN-T）インフラ政策・投資戦略、鉄道政策、港湾・内陸水路に関する政策の立案と実施、調整、広報。「EU 輸送コアネットワークおよびコアネットワーク回廊」の創設をうたった新 TEN-T 指針の採択（2013 年 12 月）につながった TEN-T 政策の再検討。2014 年～2020 年多年次財政枠組み（MFF）に関連する、 輸送インフラ関連予算の増額（2007 年～2013 年の 80 億ユーロから 230 億ユーロへ）や革新的な財政手段による「コネクティング・ヨーロッパ・ファシリティー」の設置。鉄道関連指令の見直し（recast）に関する交渉の成功（2012 年 7 月）ならびに鉄道ガバナンスの近代化、各国内市場の開放および単一欧州領域の欧州的側面や欧州鉄道庁の役割を強化する技術的な柱を対象とする欧州委員会の第 4 次鉄道パッケージ法案（2013 年 1 月）の取りまとめ。港湾に関する EU 枠組みに向けた欧州委員会の法案（2013 年 7 月）準備。内陸水路促進計画「Naiades II」の発表（2013 年 9 月）。

2009 年 10 月 1 日～ 2010 年 6 月 30 日、
2010 年 8 月 1 日～ 2011 年 3 月 15 日　**欧州委員会　モビリティ・運輸総局　TEN-T ・スマート運輸局（Directorate B）　局長代行**

2010 年 2 月 17 日 ～ 2011 年 3 月 15 日　**欧州委員会　モビリティ・運輸総局　TEN-T 政策および研究連携・欧州無線ナビゲーション計画課（B1）　課長**

TEN-T 政策の再検討、各国のインフラ政策の監視、年次の TEN-T プロジェクトの選定、TEN-T 執行機関の監督全般。研究活動の調整および「戦略的輸送技術計画」における優先課題との整合性の確保。2014 年～2020 年多年次財政枠組み（MFF）に関連する「コネクティング・ヨーロッパ・ファシリティー」の準備。

2008 年 10 月 1 日～ 2010 年 2 月 16 日　**欧州委員会　モビリティ・運輸総局　国際関係・TEN-T 政策課（B1）　課長**

バルカン諸国との運輸協定の交渉、TEN-T 政策の近隣諸国（特に欧州・地中海パートナーシップに関連して）およびアフリカへの拡大、TEN-T 政策の対外的側面の調整。TEN-T 政策の再検討と立案、各国のインフラ政策の監視、年次の TEN-T プロジェクトの選定および TEN-T 執行機関の監督全般。

2007年9月16日 ～ 2008年9月30日　　**欧州委員会　運輸・エネルギー総局　TEN-T 優先プロジェクトの調整課（B2）　課長**

2007年～2013年多年次TEN-Tプログラム（60億ユーロ）に関する選考過程の管理全般。TEN-Tプロジェクトのポートフォリオ （約 400 プロジェクト）の管理、TEN-T プログラムの拠出に関する決裁権限者。 TEN-T執行機関の設置・監督（2008年4月1日に欧州委員会の各部局から執行機関へ全てのプロジェクトを移管。その後、2007 年～2013 年の新プログラムに関する権限の延長）。優先プロジェクトに関する進捗報告書を初めて作成、その後毎年更新。TEN-T政策の再検討。

2004年9月3日～ 2007年9月15日　　**駐モーリタニアEU大使・欧州委員会代表部代表**

権限を有する分野における欧州委員会および EU の代表。モーリタニアとの関係に関するグローバル戦略の策定と実施。輸送部門、制度構築・インフラプロジェクトおよび政治ガバナンスを中心とする欧州開発基金の実施（総額 3,000 万ユーロの平均年間予算・決裁枠に関する分権的な環境における決裁権限者）。 欧州委員会海事・漁業総局と連携した、漁業協定の交渉と管理（漁獲可能量と860 億ユーロの経済的補償に関する初の EU 漁業協定）。2005 年の軍事クーデーター後、EU 理事会議長国と共に、EU の代表として政治対話や共通外交安全保障政策に関する外交的申し入れを主導。選挙プロセスに関する欧州監視ミッション。広報戦略の策定と実施。

2002年5月16日～ 2004年9月2日　　**フィリップ・ビュスカン欧州委員（研究政策担当）官房　副官房長**

2007 年～2013 年の予算期間の研究分野における欧州委員会の提案の作成（予算 50%増、欧州研究会議の創設）。リスボン戦略プロセスの継続的な実施。 欧州委員会研究総局と連携して、第6次EU研究・技術開発枠組み計画（FP6)の参加ルールの定義。FP6 プログラム下の年次プログラムの作成。欧州委員会内の主な担当分野: 運輸、予算、欧州会計監査院、欧州委員会改革。

1999年9月16日～ 2002年5月15日　　**ギュンター・フェアホイゲン欧州委員（拡大担当）官房メンバー**

旧共産主義国の経済の立て直しを支援し、政治改革を促進するための資金援助プログラムであるPHARE と ISPA、技術支援及び情報交換制度 TAIEX および EU 加盟国と支援受け入れ国の行政機関の相互交流（Twinning）の継続的な実施。対外援助管理の改革。援助協力事務所（AIDCO）の創設およびプロジェクト実施に関する権限の代表部への移譲。
欧州委員会内の主な担当分野: 運輸、欧州会計監査院、共通農業政策（CAP）および欧州委員会改革。

1996 年 2 月 16 日～ 1999 年 9 月 15 日　　　　**ロバート・コールマン運輸総局長付補佐官**

総局の活動の調整、総局長の講演原稿の作成、欧州委員会の横断的活動への貢献（補佐官会議、欧州委員会改革への貢献、「健全かつ効率的な運営イニシアチブ（SEM 2000）」、「行政・人事政策効率化プログラム（MAP 2000）」）

1993 年 5 月 16 日～ 1996 年 2 月 15 日　　　　**欧州委員会　運輸総局　国際関係課（A1）　管理官**

汎欧州運輸会議（ギリシャ・クレタ島、1994 年）の準備と汎欧州回廊の特定。陸上輸送に関するスイスとの協定の交渉。チェコおよびスロバキア両共和国との関係。加盟候補国によるアキ・コミュノテールの実施に関する調整。欧州自由貿易連合（EFTA）関連の質問の調整。

学歴

1992 年 6 月　　ドイツ学修士　ロベール・シューマン大学ドイツ学研究所（フランス・ストラスブール）

1989 年 6 月　　欧州行政学修士　欧州大学院大学（ベルギー・ブルージュ）

1988 年 6 月　　国際・公共政策学士　ロベール・シューマン大学政治学院（フランス・ストラスブール）

言語

フランス語: 母語

英語: 堪能

ドイツ語: 堪能

スペイン語: 学校教育レベル